

**〔D⑤〕 特別選考D⑤〔社会人を対象とした特別選考（中学校・高等学校「英語」）〕**

校種等	中学校の英語・高等学校の英語
特別選考出願要件	民間企業、官公庁（教職以外）において、出願時に日常的に英語を使用する3年以上の職務経験を有し、かつ各資格・検定において、＜表1＞(P.15)に示す基準を満たしている者 ※ 「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5-4(オ)又は6(1)(カ)） ・各資格・検定実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し（出願時に郵送・持参で写しを提出した上で、第1次試験の面接時に原本を持参すること。）
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	・中学校英語又は高等学校英語の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。

**〔E①〕 特別選考E①〔教職経験者を対象とした特別選考（本県教職経験者）〕**

校種等	全ての校種・職種
特別選考出願要件	本県の公立学校の教諭等又は養護教諭（いずれも正規教員）として、2年以上の勤務経験（受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。）がある者で、出願時に退職日から10年を経過していない者。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5-4(オ)又は6(1)(カ)）
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。

**〔E②〕 特別選考E②〔教職経験者を対象とした特別選考（県外現職者）〕**

校種等	全ての校種・職種
特別選考出願要件	出願時に県外の公立学校の教諭等又は養護教諭（いずれも正規教員）として勤務し、かつ出願時に2年以上の勤務経験（受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。）がある者 ※岡山市は含まない。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5-4(オ)又は6(1)(カ)）
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。

**〔F〕 特別選考F〔教師への道〕研修修了者を対象とした特別選考〕**

校種等	全ての校種・職種
特別選考出願要件	令和2年度に岡山県教育委員会が実施した「教師への道」研修を修了した者。ただし、過去に岡山県（・岡山市）公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Fで受験した者は除く。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5-4(オ)又は6(1)(カ)） ・「教師への道」研修の修了証書の写し
試験の免除等	第1次試験において面接試験を免除する。

**〔G〕 特別選考G〔理数系教員養成拠点構築プログラム〕修了者を対象とした特別選考〕**

校種等	小学校（全ての枠を含む。）・中学校（全ての枠を含む。）の理科
特別選考出願要件	「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築プログラム」を修了した者（令和4年3月31日までに修了見込みの者を含む。）。ただし、過去に岡山県（・岡山市）公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Gで受験した者は除く。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5-4(オ)又は6(1)(カ)） ・「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し（修了した者のみ）
試験の免除等	第1次試験を免除する。

**9 選考基準等**

**(1) 第1次試験**

**(7) 選考の方法**

教職教養試験、教科専門試験、特別支援教育に関する専門試験、養護に関する専門試験、面接並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、次の「(4) 選考に当たって考慮する事項」を踏まえて総合的に選考する。

**(4) 主な評価の観点**

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○特別面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」 「専門的力量」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

(2) 第2次試験

(7) 選考の方法

グループワーク、個人面接、模擬授業・口頭試問、模擬場面指導・口頭試問、実技並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、次の「(4) 選考に当たって考慮する事項」を踏まえて総合的に選考する。

(4) 主な評価の観点

○グループワーク

「コミュニケーション能力」 「社会性、協調性」 「主体性、リーダーシップ」 「問題解決能力」

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問

「児童・生徒の理解」 「教科指導（保健指導）に関する知識・技能の保有」 「使命感、教育的愛情」

「意欲的態度、誠実さ、社会性、協調性」 「発言の明確さ、的確さ」

○実技

（体育） 「技能に対する知識・理解」 「技能の習得の状況」

（音楽） 「音楽の知識・理解」 「表現の技能」

（美術） 「形態、画面構成」 「明暗、配色」 「テーマ性、完成度」

（書道） 「字形」 「構成」 「線質」 「表現力」

（家庭） 「被服・食物に関する技能」 「材料・用具の扱い方、作業態度」

(3) 英語の資格による加点

小学校教諭等（全ての枠を含む。）、中学校教諭等（英語：全ての枠を含む。）及び高等学校教諭等（英語）の出願者のうち、各資格・検定において、＜表1＞(P.15)に示す基準を満たしている者で、電子申請の該当項目又は受験願書の該当箇所（P.20参照）にて申請をした者には、第1次試験の教科専門試験（100点満点）に10点の加点をする。なお、申請をする場合は、必ず電子申請の特技・資格欄に入力又は受験願書の英語の資格欄に記入すること。

(4) 選考に当たって考慮する事項

校種・職種等	考慮する事項
全ての校種・職種	部活動・ボランティア活動・JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業に参加する等の幅広い経験を有していること
	学校図書館司書教諭の資格を所有していること
	特別支援学校教諭普通免許状を所有していること
	社会教育主事になりうる資格を所有していること ※ 所有している場合（見込みを含む。）は、必ず電子申請の特技・資格欄に入力又は受験願書の特技・資格欄に記入すること。
小学校教諭等	次のいずれかに該当する者 ①中学校教諭普通免許状（英語）を所有していること ②高等学校教諭普通免許状（英語）を所有していること ③各資格・検定において＜表1＞(P.15)に示す基準のいずれかを満たしていること ※ 上記③に該当する場合は、必ず電子申請の英語の資格欄に入力又は受験願書の英語の資格欄に記入すること。
中学校教諭等	複数教科の中学校教諭普通免許状を所有していること
中学校教諭等（保健体育） 高等学校教諭等（保健体育）	剣道4段以上の段位、又は柔道3段以上の段位を所有していること ※ 所有している場合は、必ず電子申請の特技・資格欄に入力又は受験願書の特技・資格欄に記入すること。
高等学校教諭等（地理歴史）	高等学校教諭普通免許状（公民）を所有していること
高等学校教諭等（数学） 高等学校教諭等（理科）	各資格・検定において＜表1＞(P.15)に示す基準のいずれかを満たしていること ※ 上記に該当する場合は、必ず電子申請の英語の資格欄に入力又は受験願書の英語の資格欄に記入すること。
高等学校教諭等（福祉）	高等学校教諭普通免許状（家庭）を所有していること
特別支援学校教諭等	いずれかの教科の高等学校教諭普通免許状を所有していること

※ 教諭普通免許状及び社会教育主事になりうる資格については、令和4年3月31日までに取得見込みのもの、学校図書館司書教諭の資格については、令和4年3月31日までに必要単位を取得の上、交付申請完了見込みのものを含む。